

「マイクロクレデンシャル共創フォーラム2026」  
高等教育再生と産業人材育成を推進するスキル重視社会の実現へ  
マイクロクレデンシャル社会実装ワークショップ  
事前アンケート集計資料

---

2026年7月21日

一般社団法人日本マイクロクレデンシャル機構



# 調査概要

---

## 1. 目的

「マイクロクレデンシャル共創フォーラム2026」の参加者の関心や課題意識を把握し、「マイクロクレデンシャル社会実装ワークショップ」における論点整理や質疑応答、今後のJMICOの活動検討に活用すること。

## 2. 調査期間 2026年7月6日（土）～7月18日（金）

## 3. 回答総数 91

## 4. 設問内容

Q1. ご所属区分をお聞かせください

Q2. マイクロクレデンシャルについて、現在の理解度をお聞かせください

Q3. 貴機関・貴社でマイクロクレデンシャルを活用とした場合、関心のある領域をお聞かせください

Q4. 導入・活用にあたって不安や課題に感じることをお聞かせください

Q5. JMICOホームページのFAQをご覧になりましたか <https://www.micro-credentials.jp/faq/>

Q6. FAQを見て理解が深まった項目をお聞かせください

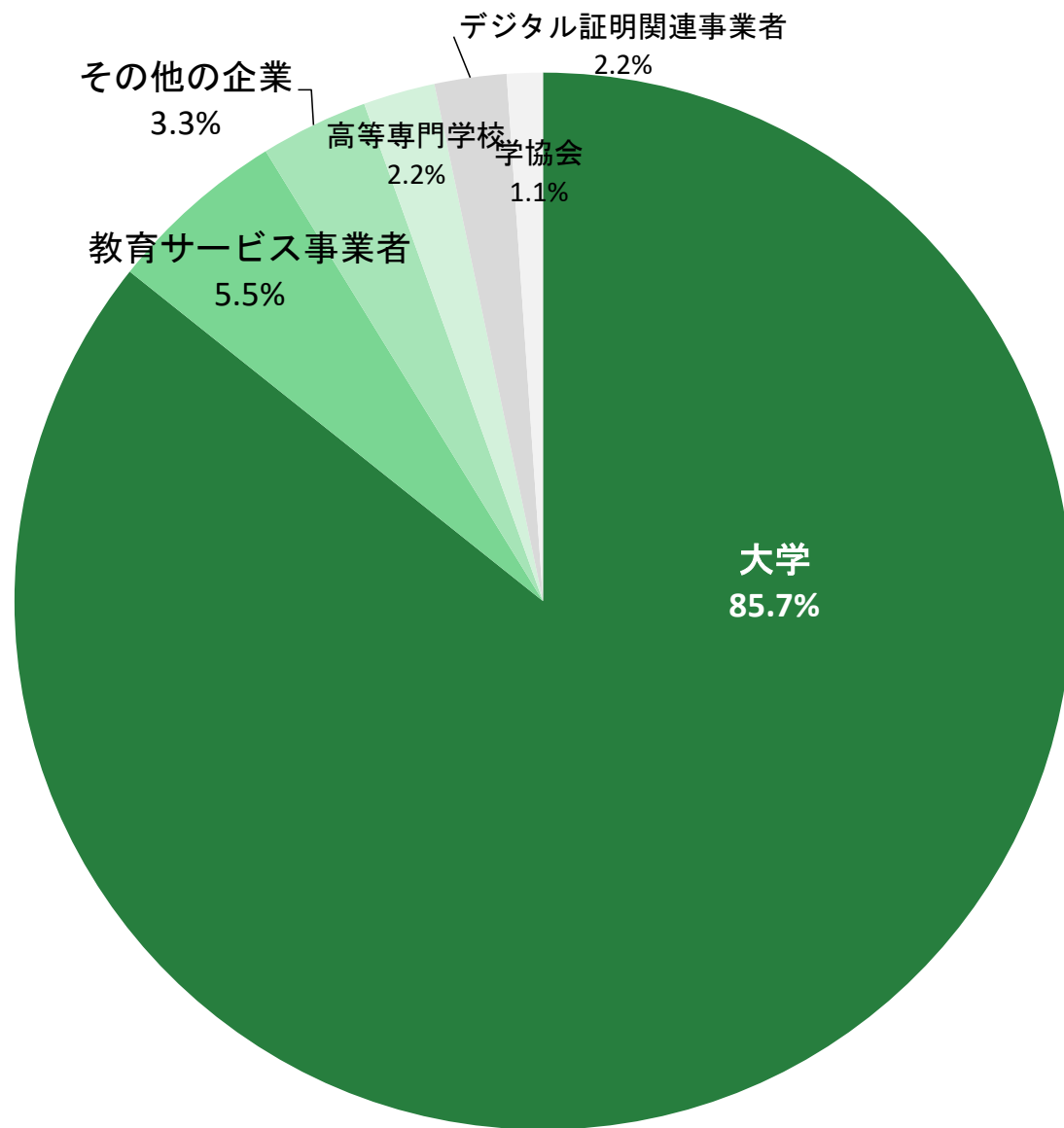
Q7. FAQをご覧いただき、さらに確認したい点があればお聞かせください

Q8. JMICOに期待する支援や役割をお聞かせください

Q9. 当日のワークショップで特に取り上げてほしいテーマをお聞かせください

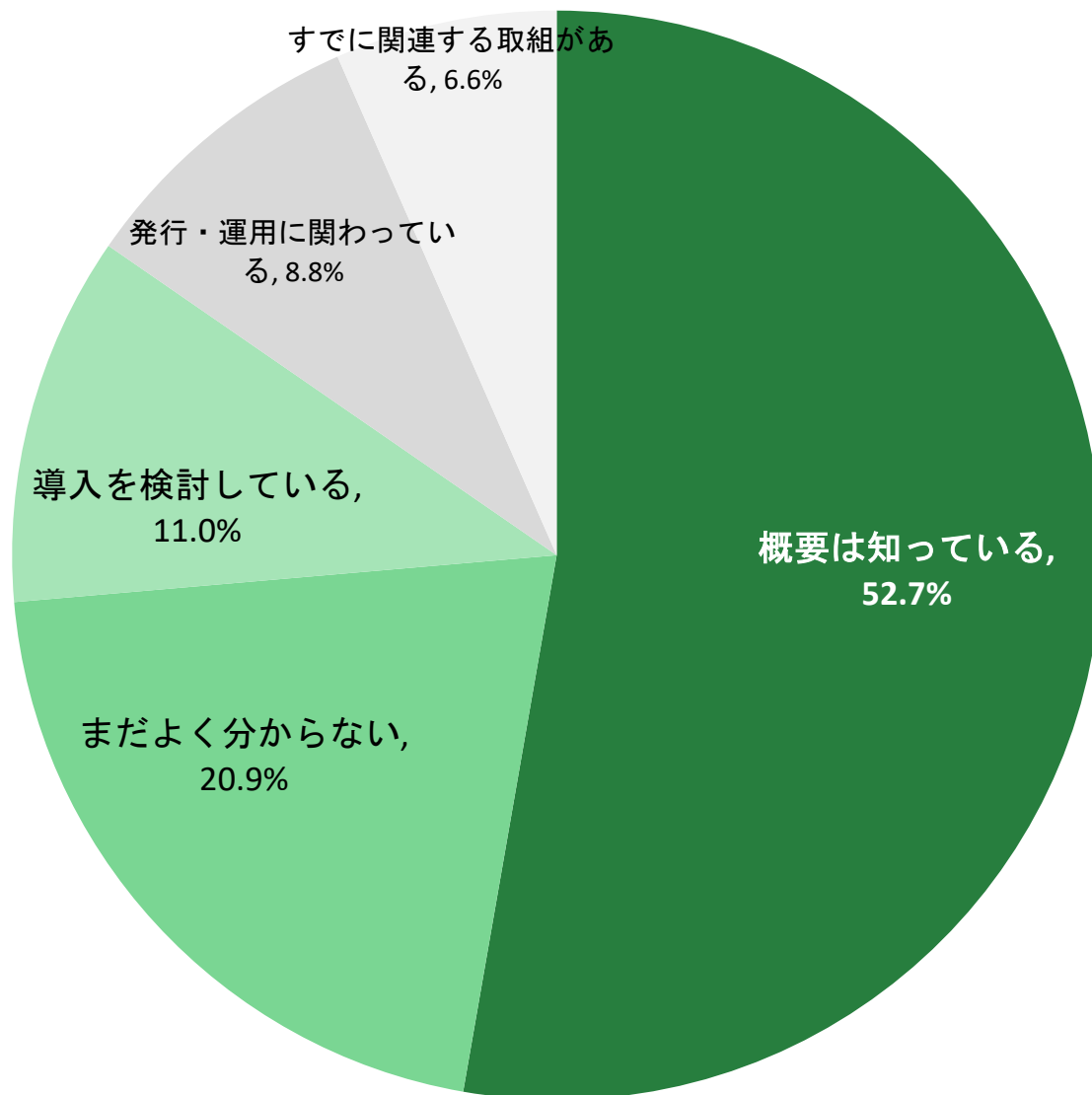
Q10. JMICOへの入会・連携について、現在のお考えをお聞かせください

## Q1. ご所属区分をお聞かせください



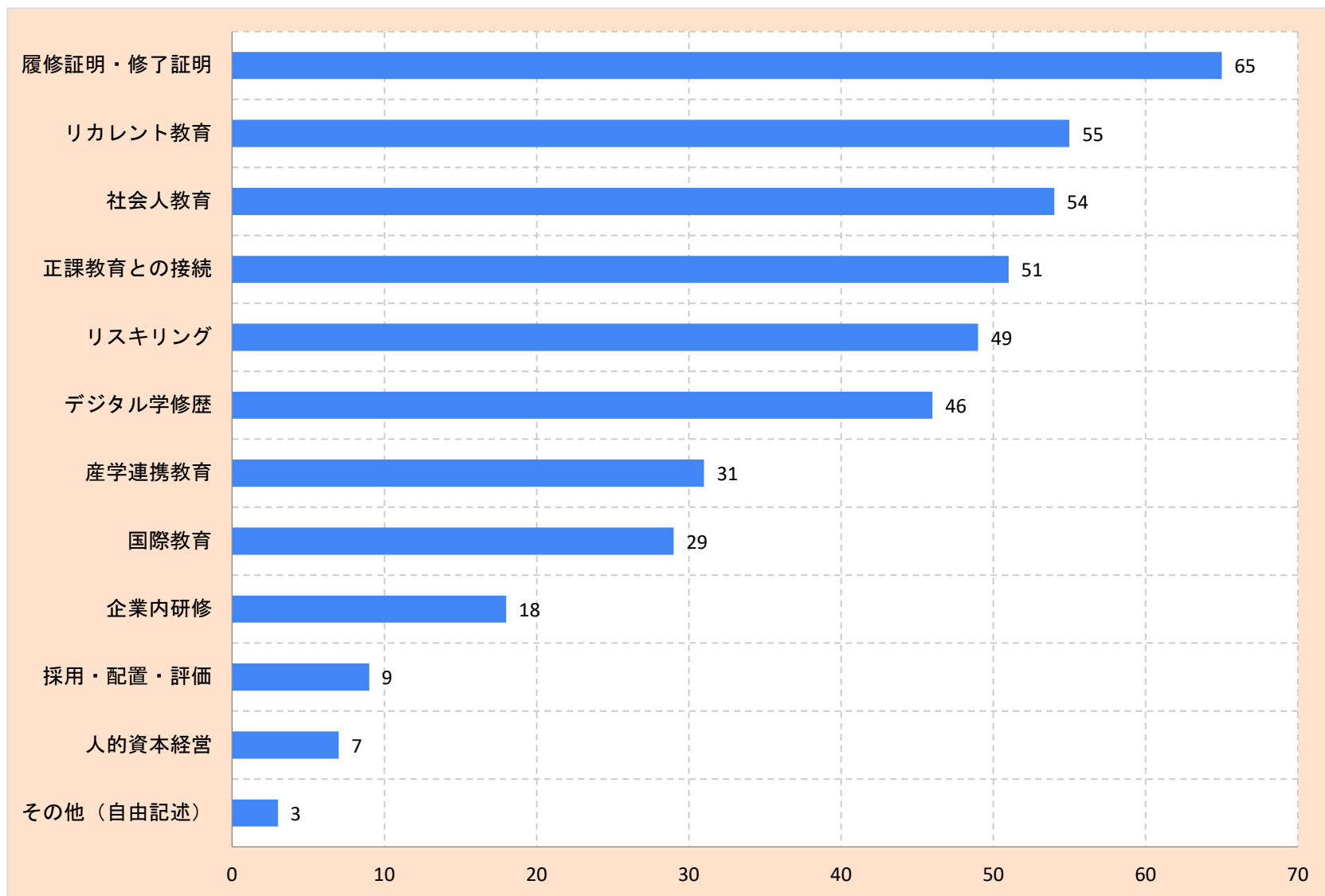
| 選択肢         | 回答数 |
|-------------|-----|
| 大学          | 78  |
| 教育サービス事業者   | 5   |
| その他の企業      | 3   |
| 高等専門学校      | 2   |
| デジタル証明関連事業者 | 2   |
| 学協会         | 1   |

## Q2. マイクロ credenシャルについて、現在の理解度をお聞かせください



| 選択肢          | 回答数 |
|--------------|-----|
| 概要を知っている     | 48  |
| まだよく分からない    | 19  |
| 導入を検討している    | 10  |
| 発行・運用に関わっている | 8   |
| すでに関連する取組がある | 6   |

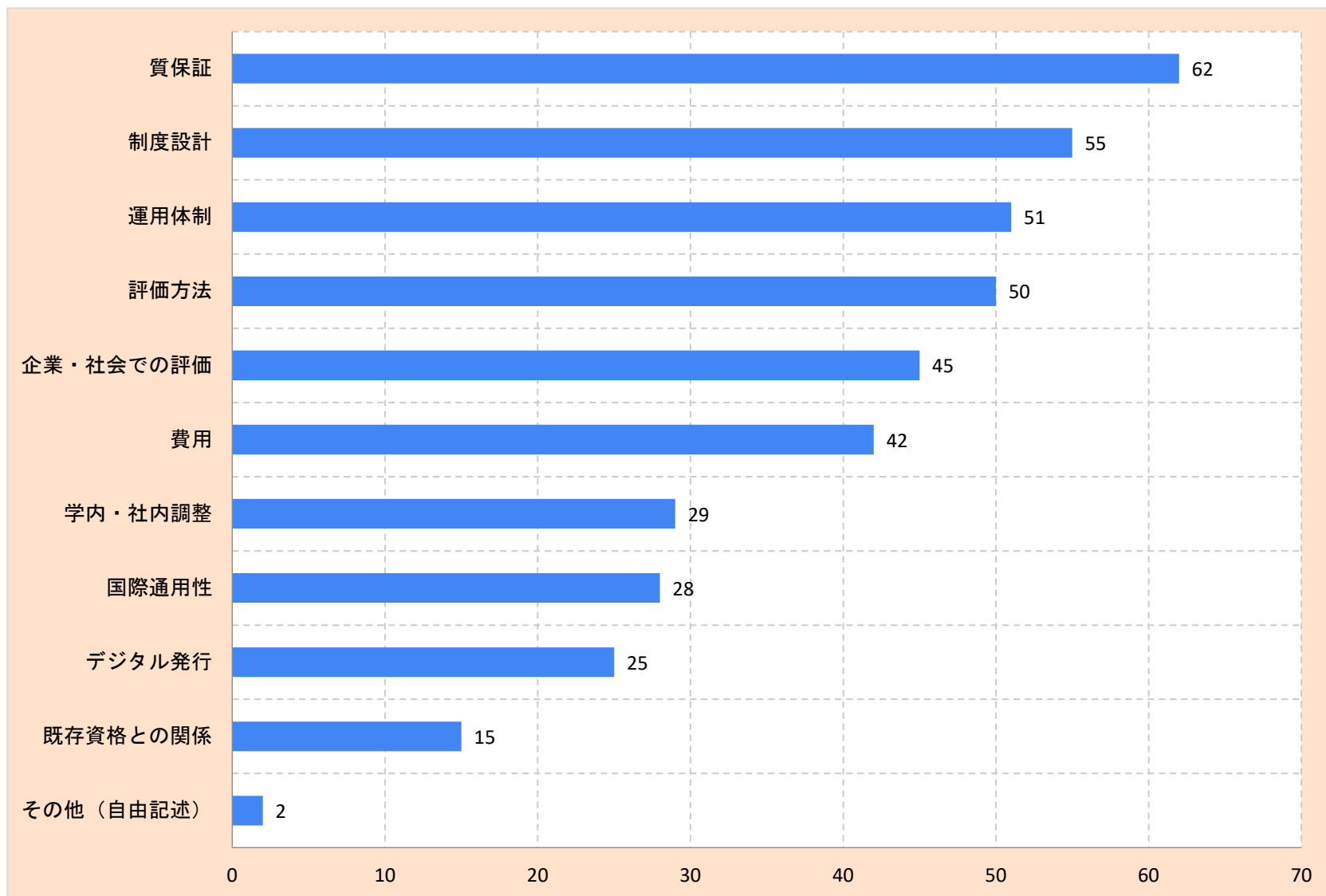
### Q3. 貴機関・貴社でマイクロredentialsを活用とした場合、関心のある領域をお聞かせください



その他（自由記述）内容

- ・ 大学間教育連携
- ・ 高大連携
- ・ マイナー

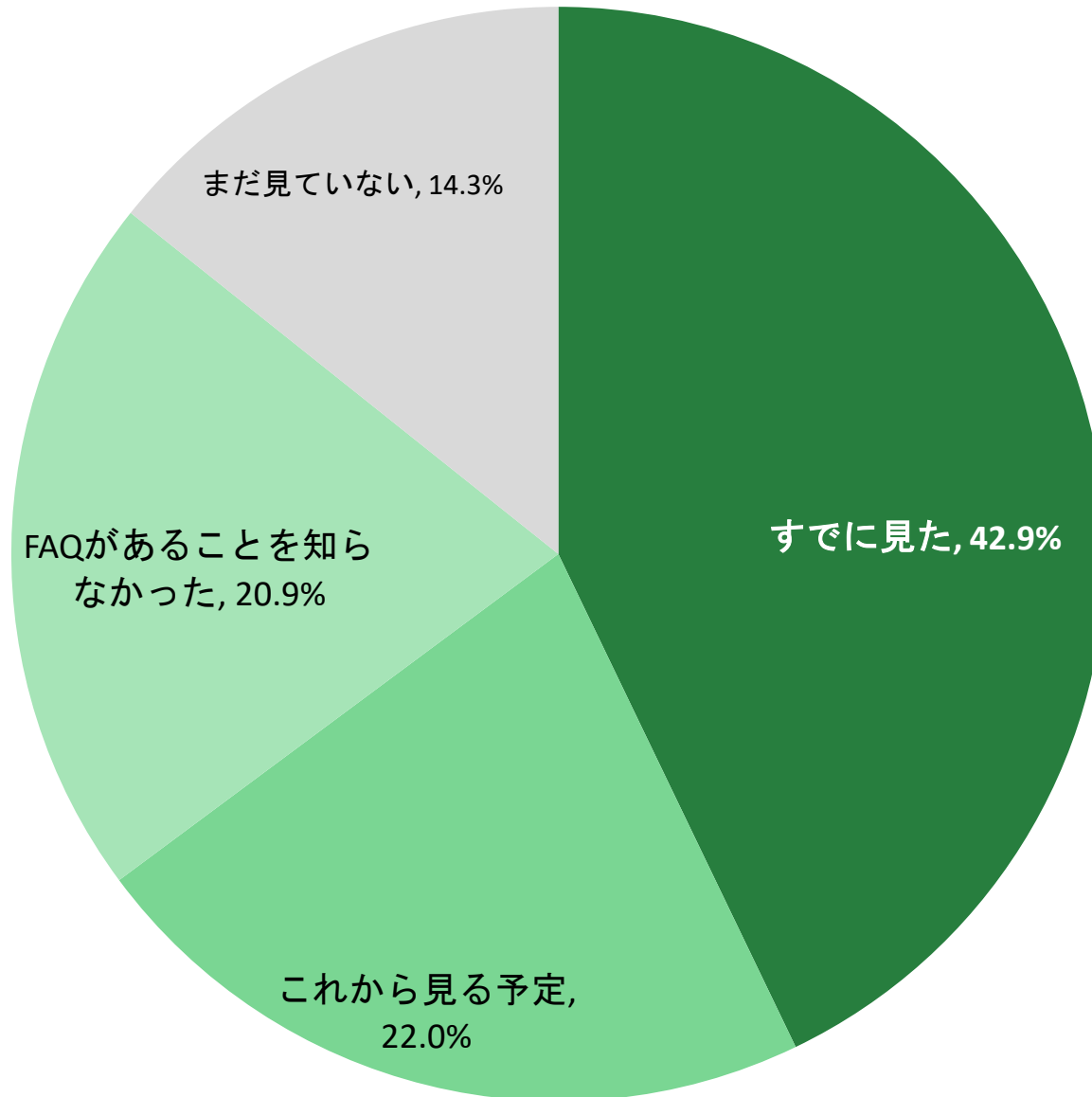
## Q4. 導入・活用にあたって不安や課題に感じることをお聞かせください



その他（自由記述）内容

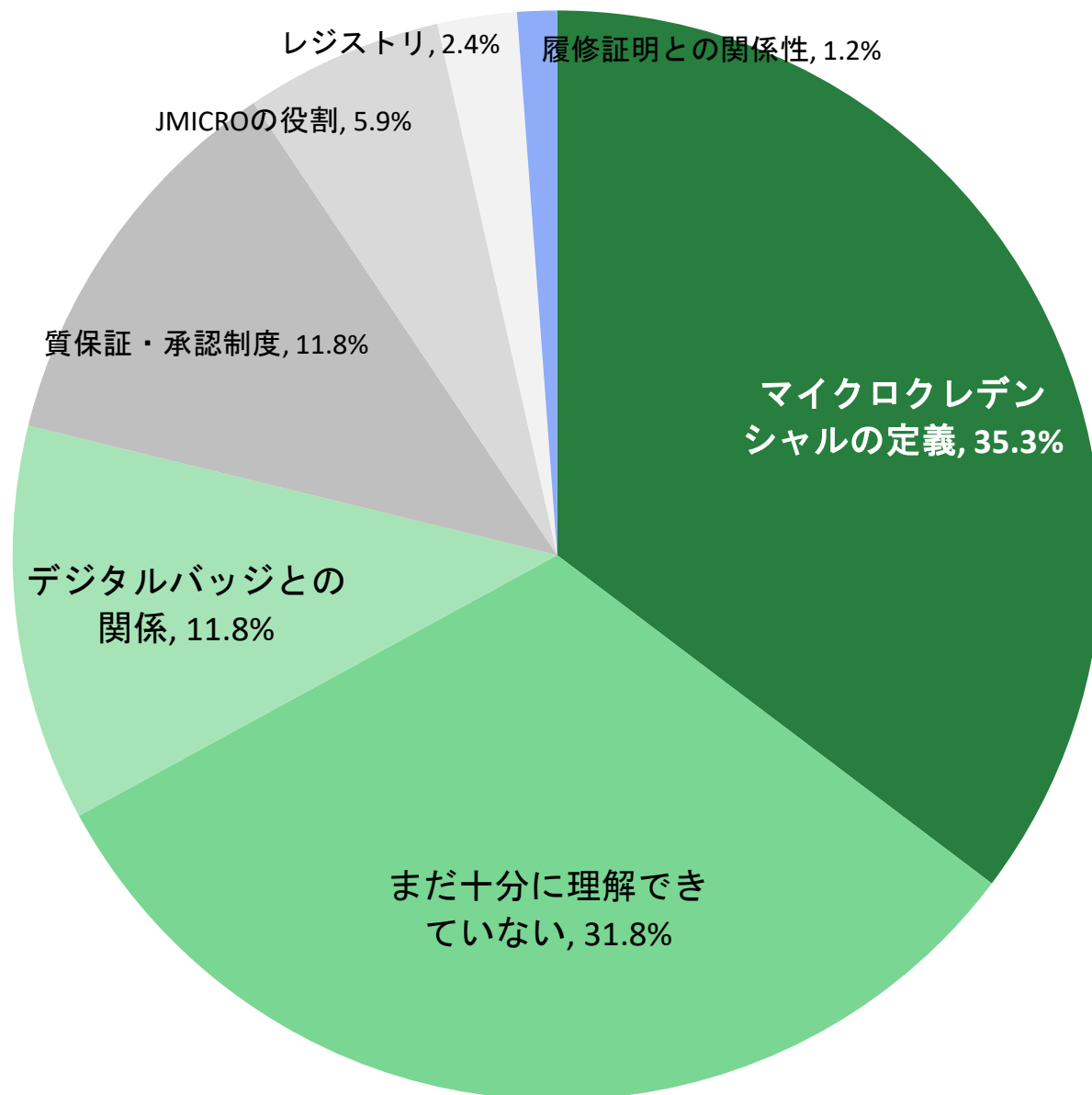
- ・ 学歴と同様、取得した機関による評価の違い
- ・ 国家承認の有無

## Q5. JMICROホームページのFAQをご覧になりましたか <https://www.micro-credentials.jp/faq/>



| 選択肢             | 回答数 |
|-----------------|-----|
| すでに見た           | 39  |
| これから見る予定        | 20  |
| FAQがあることを知らなかった | 19  |
| まだ見ていない         | 13  |

## Q6. FAQを見て理解が深まった項目をお聞かせください

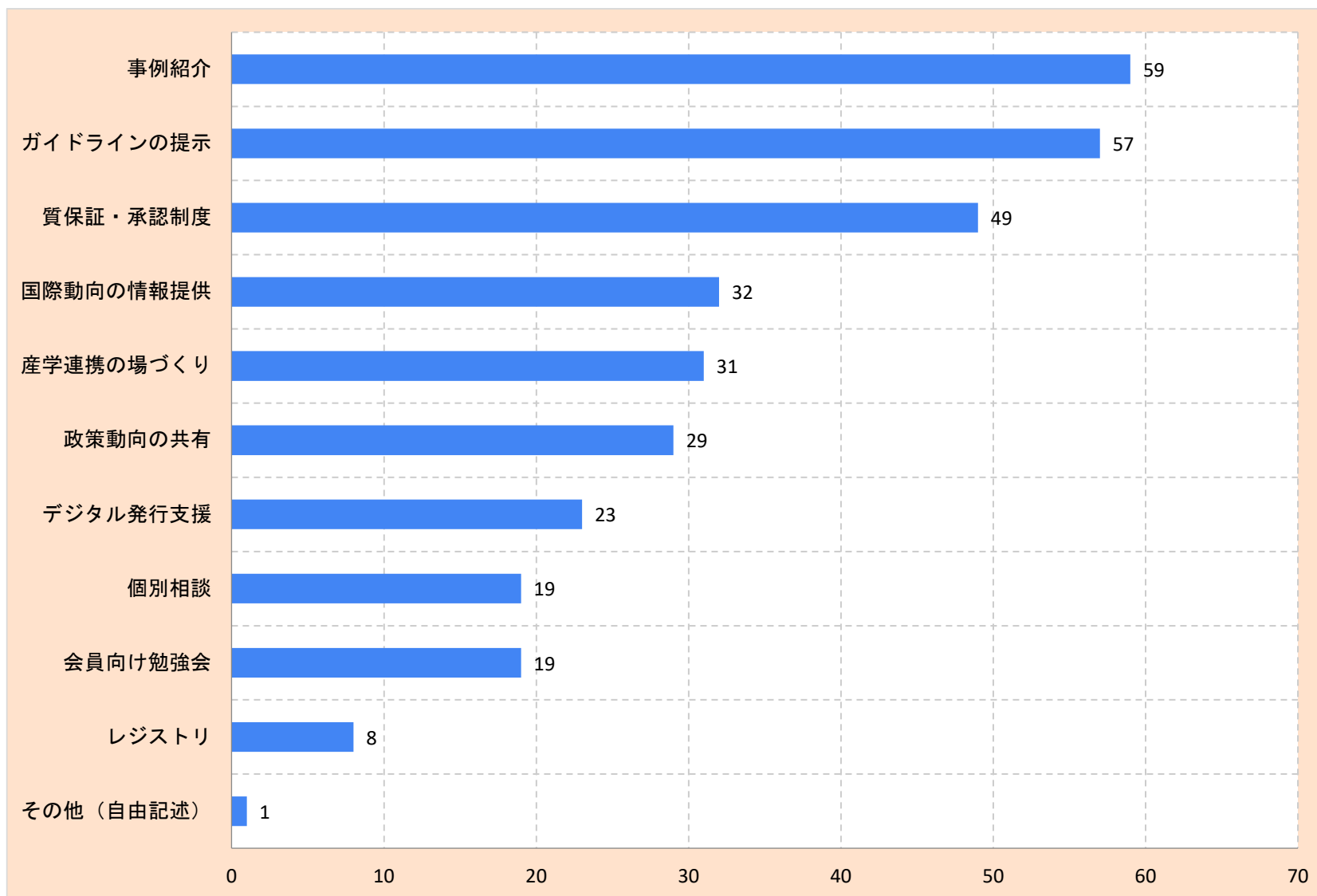


| 選択肢            | 回答数 |
|----------------|-----|
| マイクロクレデンシャルの定義 | 30  |
| まだ十分に理解できていない  | 27  |
| デジタルバッジとの関係    | 10  |
| 質保証・承認制度       | 10  |
| JMICROの役割      | 5   |
| レジストリ          | 2   |
| 履修証明との関係性      | 1   |

## Q7. FAQをご覧ください、さらに確認したい点があればお聞かせください

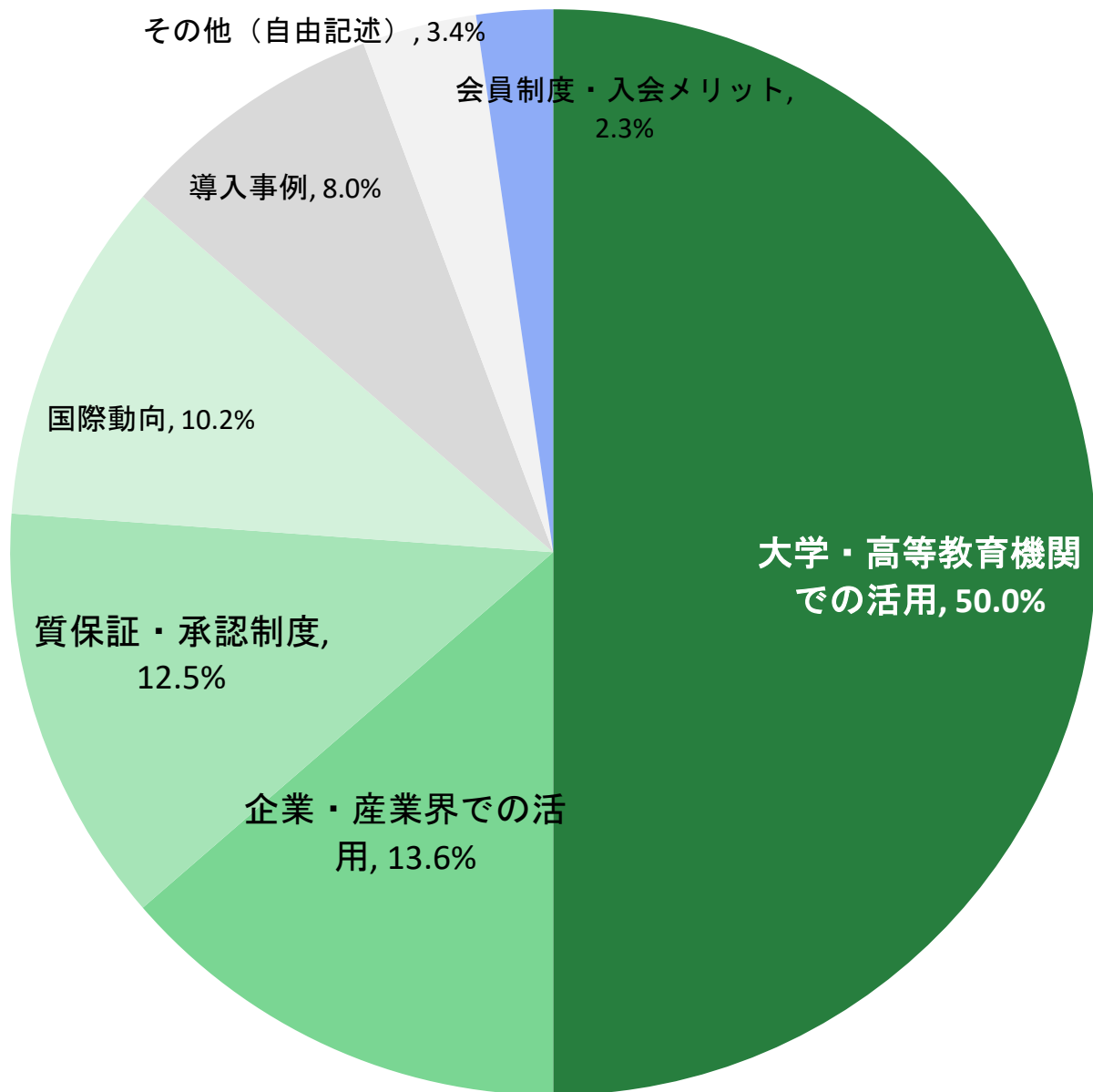
| No. | 理解度（Q2）      | 確認したい点（原文）                                                                                                                                                                                                                | 所属区分  |
|-----|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1   | 概要は知っている     | 機関別認証評価における機関の適合認定と、マイクロクレデンシャルとして提供されるプログラムの質保証は別問題のようにも感じるのですが、プログラムの質そのものを評価することはしないということでしょうか。                                                                                                                        | 大学    |
| 2   | 概要は知っている     | マイクロクレデンシャルを活用した履修プログラムの設計（構造）のプロセスについて                                                                                                                                                                                   | 大学    |
| 3   | 概要は知っている     | 国際動向と歴史について                                                                                                                                                                                                               | 大学    |
| 4   | 概要は知っている     | 国内は労働者の不足が問題ですが、個々の能力を引き出し、発揮できる場があれば、就労人口を増やすことができます。就労に結び付かずにいる人々がたくさんいらっしゃいます。何らかの障害を抱えている方などです。今の社会は、困難を抱える方に環境を整えることができないことが問題です。<br>ご本人に関しては、自分の能力を発揮できる分野を見つけることが大切です。<br>そのため、マイクロクレデンシャルは重要視されていかなければならない、と考えます。 | 大学    |
| 5   | まだよく分からない    | 学習歴のデジタル化                                                                                                                                                                                                                 | その他企業 |
| 6   | まだよく分からない    | レジストリの用語がわからなかった。                                                                                                                                                                                                         | 大学    |
| 7   | まだよく分からない    | マイクロクレデンシャルとデジタルバッジを両方付与するケースについて                                                                                                                                                                                         | 大学    |
| 8   | まだよく分からない    | マイクロクレデンシャルにより、細分化されたスキルを身につけることで、何らかの困難を抱え、現在就業できずにいる方々の就業の場が広がることも視野に入れている、と考えてもよいでしょうか。                                                                                                                                | 大学    |
| 9   | 導入を検討している    | 現在の履修証明プログラムを認定するのにどう取り組んでいけばよいのか。                                                                                                                                                                                        | 大学    |
| 10  | 発行・運用に関わっている | 国家承認の有無                                                                                                                                                                                                                   | 大学    |
| 11  | 発行・運用に関わっている | 記述子の具体性、質保証の評価基準                                                                                                                                                                                                          | 大学    |

## Q8. JMICROに期待する支援や役割をお聞かせください



その他（自由記述）内容  
・マイクロ credenシャルの広報  
活動のポイントを教えてほしい

## Q9. 当日のワークショップで特に取り上げてほしいテーマをお聞かせください

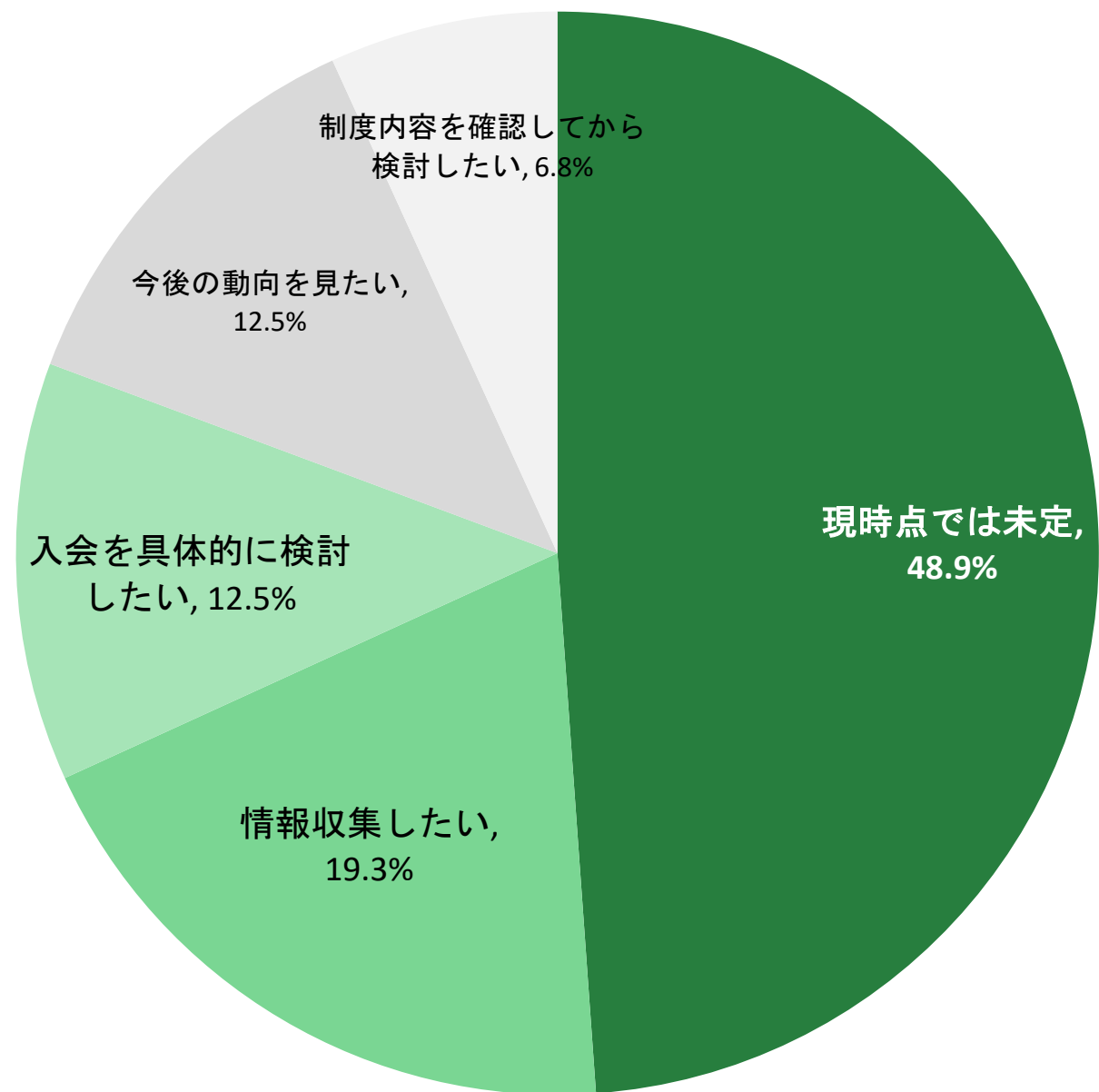


| 選択肢           | 回答数 |
|---------------|-----|
| 大学・高等教育機関での活用 | 44  |
| 企業・産業界での活用    | 12  |
| 質保証・承認制度      | 11  |
| 国際動向          | 9   |
| 導入事例          | 7   |
| その他（自由記述）     | 3   |
| 会員制度・入会メリット   | 2   |

### その他（自由記述）内容

- ・長時間の研修すべてに参加できそうになく、ぜひ事後に見直しができる形で動画配信いただきたいと思います。
- ・デジタル学修歴・レジストリ
- ・各国のマイクロレデンシャルの認証制度との違いや相互認証について

# Q10. JMICROへの入会・連携について、現在のお考えをお聞かせください



| 選択肢              | 回答数 |
|------------------|-----|
| 現時点では未定          | 43  |
| 情報収集したい          | 17  |
| 入会を具体的に検討したい     | 11  |
| 今後の動向を見たい        | 11  |
| 制度内容を確認してから検討したい | 6   |

一般社団法人日本マイクロクレデンシャル機構事務局  
secretariat@jmicro.org

